

～ 都会と農村を結ぶコーディネーター ～
大下 克夫さん（八幡浜市）

かんきつ農家（真穴柑橘共同選果部会副共選長、経営管理委員） 1968年生まれ

ホームページ <http://www.marumamikan.com/>
（真穴柑橘共同選果部会）



☆経営概況☆

温州みかん専作で、早生温州 160a、南柑 20号 40a、合計 200a を栽培しています。労働力は**家族労働が主体**（2人、妻）で、みかんの収穫期に5人ほど雇用を入れています。作業効率を考えて、**改植や低樹高栽培**に取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■新潟から参入～真穴で研修～養子になるまで

新潟県三条市の出身です。父は一代で従業員3名を抱える工務店を築き上げた大工の棟梁で、その三男です。動物が好きだったことから、帯広畜産大学に進み、進路を考えた時、サラリーマンに抵抗を感じ、たまたま広げた地図の中で、九州に飛び出た佐田岬に目がとまり、自分からアクションを起こした結果、**真穴青果農協で2年間の実習**を受け、就農しました。空家を見つけ、みかん園 50a、キウイ園 20a で農業をスタートしました。就農してから3年目に**地元の農家の娘さんとお月見会で知り合い**、結婚、養子になりました。

■都会と農村のコーディネーターとして（1ターンの頼れる兄貴、養子組合の活動）

真穴地区は、昔から**アルバイト事業**（みかんの繁忙期に都会の若者をホームステイさせ収穫作業の雇用）に取り組み、現在では JA全体で**西宇和みかん支援隊**として組織化が図られ、就農・農作業体験者の受入れ、援農者の確保等に取り組んでいます。私は地元の**真穴担い手支援チーム**に入って活動しています。自分も経験したことから、毎年、数名の**1ターン農家の受入れ**等を積極的に行い、東京へ出向いて愛媛移住フェア等へ参加したり、都会の小学校でみかんの出前授業を行ったりして、**愛媛やみかん農家のPR**を行っており、マスコミに取り上げられ、講演にも呼ばれます。

また、私と同様の地区外から養子に来た仲間と「**養子組合**」を結成して、夏休みにお化け屋敷を開いたり、海岸清掃、旅行、定期的な飲み会を行い、親睦を深めています。

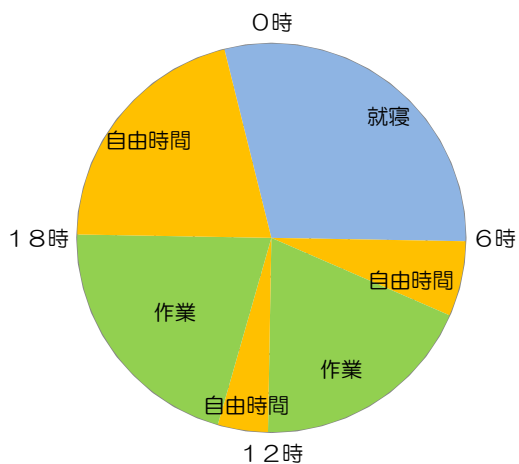


就農希望者に栽培技術を伝授



アルバイトと共に収穫作業中

【一日のライフスタイル(一例)】



【普段の生活について】

共選の販売役員として、**みかんの加工品作り**にも取り組み、ジュレや粒ジュース等を作り、販路開拓に努めています。共選の従業員を確保するために、**3地区(北海道富良野、沖縄県)連携活動**を積極的に行っています。

休日は**愛犬のアリス**と戯れています。**養子組合での活動**は、6月5日(むこ)か8月4日(ようし)に行っています。地域の結びつきを強めようと、「お月見会」を復活させ交流を図っています。

【一週間のライフスタイル(一例)】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	11~12月 収穫・選果作業、農休日はほとんどなし					
【普通期】	1~2月が空いていて、6月からは摘果作業が本格化し、収穫に突入します					休日



愛媛移住フェアにて真穴のPR中



養子組合でたびたび懇親会を

☆これからの夢や目指すもの☆

自身の経験を生かし、**都会と真穴のコーディネーター**となり、**地区外から若者を引っ張る**ことで、後継者問題を解決し、産地を維持していきたいです。「**みかんづくりは真穴**」となるよう、出前授業等でPRを行い、さまざまなメディアを活用し、広めていきたいです。みかんを使った**加工品を作出・販路拡大を実施**し、真穴のPRを行いたいです。

☆メッセージ☆

農業・農村には高齢化問題など、さまざまな課題が山積していますが、私のような地区外のもの飛び込むことで、**田舎はもっともっと活性化されます**。私がコーディネーターとなって都会からやってきた1ターン者が、「**みかん農家になって良かった**」と言ってもらえるよう、頑張っていきたいと思ひます。

真穴でみかんづくりをやりませんか？都会からの参入をお待ちいたしております。